

ジュニア京都
観光大使の

GoGo

体験レポート

第60回日本PTA
全国研究大会京都大会

平成24年度ジュニア京都観光大使 荒堀功三さん/塚崎梓さん/藤井芽生さん/三上春菜さん
平成23年度ジュニア京都観光大使 原有利奈さん/宮本紬麦さん/大久保美鈴さん/松尾大那さん/青谷夏野さん/仙田さくら子さん/綾木明佳さん



子どもたちにとって健やかな育ちの環境をつくり、かけがえのない「いのち」が輝く社会を目指した第60回日本PTA全国研究大会京都大会が、8月24日(金)と25日(土)の両日に開催されました。「いのち ころろ ゆめ～伝えよう つなげよう 育もう～」を大会スローガンに、全国から約8,000人ものPTAの方々々が京都に集いました。

初日に行われた分科会では、「地域連携」や「学校教育」、「環境教育」などのテーマに分かれて、基調講演や実践発表、パネルディスカッションなど活発な研究、討議が行われ、子どもを取り巻く最近の教育課題について理解が深められました。また、2日目の全体会では、歌手の加

藤登紀子さんによる基調講演の後、東日本大震災への支援や子どもたちの「命」を守る取組を決意する大会宣言が採択されました。



京都では初開催となる今大会では、狂言や華道、書道など伝統文化に関わる実演を含めた講演が行われたほか、祇園祭山鉦連合会の御協力を得て祇園囃子の演奏やそれに合わせた洛央小学校児童による創作踊りを披露したり、京都市伝統の「PTAフェスティバル」の特色を活かした「京おもてなしコーナー」を開設するなど、京都ならではの特色を活かした様々な取組が行われました。

今回、ジュニア京都観光大使は、24日に京都市勤業館みやこめッセで行われた5つの分科会の開会式で、歓迎

のこたばを述べました。

その中で、参加者に対して京こたばで歓迎するとともに、それぞれの大使が全国の方や次の世代に伝えていきたい京都の魅力を発表しました。「昔の人の知恵がたたくさんつまつた京町家」や「歴史や奥深さを感じることでできる建造物」、「お客様の居心地が良いようにと気を配るおもてなしの心」、「古いものの中に新しいものが盛り込まれている文化」など、大使たちからはたくさんの京都の魅力が発信されました。

大使たちは、大勢の参加者を前に緊張した様子でしたが、自分たちの思いを全国の方々々にしっかりと伝えることができました。

